

日本語版

True Peace

Vol. 42

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 11年

天曆 12月

2024年 陽曆 1月



巻頭言

真の父母様のみ言

真の父母様の動静

特集

HJ NEWS

現場ニュース

2024 年、新たな飛躍と変化のために前進しよう

2023 神通一韓国邑面洞の指導者、南北統一祈願昌原市救国救世祈祷 天一国時代、祝福家庭の責任

天地人真の父母様招請 クリスマス特別午餐会

南楊州大教会 南北統一祈願真の愛祝祭

梁昌植天宙平和連合 (UPF) 世界議長、フン・マネット カンボジア首相公式訪問

神アメリカ、ニュージャージー伝道戦略集会



2024 年、新たな飛躍と変化のために前進しよう

宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長



愛する天一国の指導者、祝福家庭の皆様！2023 年、多事多難であった、癸卯の年、黒兎の年を締めくくり、2024 年、甲辰年、青龍の年を眺めています。2024 年、青龍の年、「青い龍」の気運を受け、尊敬する天一国指導者、愛する祝福家庭の皆様の新しい夢と目標が願われた通りに成就することを願います。

2023 年は天の父母様の祝福と真の父母様の恩恵が溢れた、本当に驚くべき摂理的結実を成し遂げた一年でした。

真のお母様は去る陽暦 5 月 7 日、傘寿宴を迎え「天苑宮天一聖殿」奉献式を挙行された後、陽暦 5 月 9 日、新時代に合う組織改編および人事を断行され、家庭連合の新しい出発を開いてくださいました。また、真のお母様は全世界に散らばった家庭連合と組織を一つにまとめてシナジー効果を出すために世界本部と第 1 秘書室、第 2 秘書室を準備してくださいました。

こうした中、世界本部は 2023 年に新たな飛躍のために 7 つの政策を発表しています。そのうち代表的な 3 つの政策についてお話したいと思います。

1 つ目は「世界巡回による綿密な現状把握と大陸別国別戦略樹立」政策に関する内容です。

世界本部は、真のお母様の命を受け、神ヨーロッパを皮切りに 3 カ月間、5 大陸 12 カ国を相次いで巡回し、世界各地の摂理現場を目撃し、具体的で切実な現場の声を直接聞きながら、互いに心を開いて熾烈に戦略議論をした結果、以前よりもはるかに深い心情的な関係を築くことができました。そして現在、世界巡回当時、現場と約束した「持続的な疎通と共有」を実践するために、毎月大陸別定例会議を実施しており、161 カ国の国家会長と 1 対 1 会議も行い、現場をサポートし、変化させています。

2 つ目は「真の父母様を中心とした天の父母様聖会の心情文化の再確立および教育」に関する政策の一環として展開中の、「天一国時代の真の父母神学研究」に関する内容です。

真の父母様は「天一国時代は天一国時代にふさわしいみ言が研究されなければならない。これを通じて天一国の伝統確立のための教育講義案が開発されなければならない」と語られ、「天の父母様と真の父母様の本質、そして祝福家庭の価値とアイデンティティを確立する心情文化教育を推進せよ」という指針をくださいました。そのみ言に従って、世界本部は鮮文大学と鮮鶴 UP 大学院大学の神学教授陣を一つにまとめ、「真の父母神学研究委員会」を発足させ、本格的な「真の父母神学研究」に集中しています。

最近、真のお母様は「真の父母神学研究」のタイトルを「天の摂理から見た真の父母様の位相と価値」に定め、さらに研究に拍車をかけています。特に 12 月 15 日には、真の父母神学研究の最終目標である「天一経典」についてのみ言をくださり、それに対する追加研究を準備しています。

世界本部は、真のお母様が最近くださったみ言を受け入れて、摂理の完成時代を迎え、真の父母様の位相と価値をきちんと教育できる教材として、より一層隙間なくたくさんの内容を入れ、充実した天一国教材になるよう完璧に補完していく計画です。

「一刻を争う」という真のお母様の深い事情と心情を察した世界本部をはじめとする秘書 1 室、秘書 2 室、神韓国協会と神学教授陣は一つになる中で、すべての内容を深く議論し、疎通し、完成度を高めています。

3 つ目は「未来世代養成と人材データベース戦略的システム構築」に関する内容です。最近、真のお母様は「二世達が国家の復帰の、世界復帰の先頭に立たなければならない」と語られ、「2024 年から文信出・文信興生徒を含む、約 60 人の鮮文 UPA 生徒は学校卒業と同時に海外宣教に出なさい」というみ言をくださいました。世界本部は真のお母様のみ言を受け、全世界大陸と連帯して「神トッパガン」二世圏の公式路程を準備しており、そのために UPA 生徒の海外宣教および全世界大陸の二世の青年達が一緒に宣教に行けるように準備しています。

尊敬する天一国指導者、祝福家庭の皆様！世界本部は今後も実体的な教会成長と国家の復帰ビジョン達成のために、各大陸と互いに疎通しながら一つになり、中断なき前進をされるお母様に従って、休まず前に進んでいきます。そのような意味で 2023 年の一年、皆様、本当にお疲れ様でした。

2024 年は、真のお母様が与えてくださる、『天の摂理から見た、真の父母の位相と価値』を持って、全世界の祝福家庭が誓いと決意を行い、一つになり、天の父母様と真の父母様に大きな希望を捧げることを願います。㊦

CONTENTS



巻頭言

- 02 2024 年、新たな飛躍と
変化のために前進しよう
宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長

特集

- 10 南楊州大教会
南北統一祈願真の愛祝祭
14 2023 年神統一韓国邑面洞指導者
南北統一祈願昌原市
救国救世祈祷会

世界会長 特別報告

- 18 6 か月間の成長と努力に
敬意を表し

HJ NEWS

- 22 梁昌植天宙平和連合 (UPF) 世界議長、
フン・マネット カンボジア首相
公式訪問
23 梁昌植天宙平和連合 (UPF) 世界議長、
クオン・スダリー カンボジア
国会議長と会談
24 UPF アジア太平洋圏域、
スリランカ国会・
国会議員指導者会議共同主催
26 天宙平和士官学校、
神 TOPGUN 宣教活動
30 第 5 回南北統一祈願！
天運相統天心修練会



真の父母様のみ言

04 メシヤの役割と使命

天聖經 第一篇 第四章 一節

06 天一国時代、祝福家庭の責任

2023 神通一韓国邑面洞の指導者、
南北統一祈願昌原市救国救世祈祷

真の父母様の動静

- 08 天地人真の父母様招請
クリスマス特別午餐会

現場ニュース

- 神アメリカ
33 ニュージャージー伝道戦略集会
神アジア太平洋
34 「為に生きる」授賞式及び
新規平和大使委嘱式
神南米
35 ブラジル宗教指導者
平和大使委嘱式
36 新規食口 1000 人勝利特別礼拝
神中米
37 ドミニカ共和国祝福結婚式

孝情証詞

- 38 天の父母様と真の父母様の
愛でつながった時間
エヴァ





メシヤの役割と使命

天一国経典 天聖經 第一篇 神様 第四章 第一節

神様がイスラエル民族をカナンの地に呼び入れられたのは、カナンの地に天国を建設するための勝利的な民族基盤を完結して、一つの主権を立てたあと、将来送るメシヤを迎えるようにするためでした。ですから、イスラエル民族は、自国を統治できる主人公としてメシヤを迎え、メシヤを中心としてサタン世界を打って、神様の復帰摂理を終結しなければなりません。

このような使命があったにもかかわらず、イスラエル民族とユダヤ教団には、それが分かりませんでした。その当時、イスラエル民族は救世主が来さえすれば、自動的に世界を支配する民族になるとばかり考え、民族的な勝利と国家的な勝利の土台の上に、世界的な勝利の土台を築いて、復帰の歴史を終結しなければならないということが分かりませんでした。

個人が完成できなければ、新しく自覚された家庭が形成されず、新しい家庭が現れなくては、新しい民族と新しい国家も出てくることはできません。ですから、統一教会では、個人の完成を決意して立ち上がるのです。神様は、個人復帰の完成を何よりも待ち望んでこられました。男性なら男性一人を完成するために、今まで六千年の歴史がかかったということです。

これまで神様は、復帰摂理の全般的な目的を、時代を超越して一人の完成した男性に置き、それを標準にしてこられました。そして、その完成した男性を中心として一人の女性を立て、一つの家庭完成の標本をつくろうとされたのですが、それがメシヤ思想なのです。神様は、このメシヤ思想を中心として新郎新婦を立てることによって、復帰摂理の決着をつけようとしたのです。そのようにして、全

体の生活基盤を立てるのです。そのお方が立てておいた生活観や、そのお方が指向する理念は、後代の万民が見習うべき標本です。

神様の復帰摂理のもう一つの公式は、メシヤを遣わされるのに先立って、中心宗教と中心国家を立てて役事するという事です。神様はまず、イスラエル民族とユダヤ教をお立てになり、その準備された土台の上でメシヤ、イエス様を送られて、すべての人間が次第に彼と一つになるようにされることによって、善の版図を広めていきながら、世界復帰、すなわち天国理念を実現しようとされました。アダムから四千年もかかって準備されたイスラエル民族とユダヤ教が、イエス様を迎えて一体となることによって、犠牲を払って一つのみ旨に従っていたならば、その当時に、すぐに中東とアジアを統合し、西洋を連結して全世界の地の果てまで急速にみ旨を伝播することによって、神様の主権で統一された地上天国を建設したでしょう。

真の愛と真の生命の種をもったアダムを失った神様は、サタンの讒訴条件のない新しい種をもった息子を探し立てなければなりません。創造の時にアダムを先に造ったように、再創造摂理である復帰摂理でも、墮落と無関係な息子を先に立てなければなりません。これがメシヤ思想の根本です。

メシヤは、サタンの主管下にいる墮落した血統をもった人々の生命を否定し、新しい生命の種を接ぎ木してあげるために来られる真の人です。根は神様に置いているのですが、後のアダムとして来て、アダムが犯した罪を清算しなければならないのがメシヤです。神様が、能力だけで役事する超人を

メシヤとして送ることができない事情が、ここに 있습니다。

救世主は、神様のみ旨を中心として、成し遂げられなかった愛の恨を解く代表者です。人間は、その愛を成し遂げられなかった恨をもった絶望的存在です。これを解怨成就するために来られるお方が救世主です。本然の愛を求めるために来るのです。御飯が食べられない人に、御飯を食べさせるために来るのではありません。神様を解放しなければならないのです。男性を解放する道には、心から愛する妻がいなければなりません。そのような妻が永遠に愛して残ることができるとき、その男性には拘束がありません。解放です。本質的中心である神様は、今まで愛を求めて投入しながら忘れる立場にある、悲しい神様です。

神様はどのようにしても、本来計画された真の愛と、平和の理想を回復しなければなりません。神様の救援摂理は、原状回復の摂理、すなわち復帰摂理です。このような復帰摂理のために宗教を立て、善の版図を広めてこられました。

神様が送られるメシヤは、この復帰摂理を完結する、総責任を負って来られるお方です。ですから、メシヤは真の父母として来られて、根本から正しく回復しなければなりません。メシヤとして来られたイエス様は、真の父母の使命をもって来られました。彼は地上で、人類を真の愛で重生させ、真の人、真の夫婦に回復させて、真の父母にさせるために来たのです。不幸にも、彼は地上の不信によってみ旨を成し遂げることができず、亡くなられるとともに再臨を約束しました。真の父母として再び来られて、神様の創造理想を完全に回復しなければならないのです。 





天一国時代、祝福家庭の責任

2023 神通一韓国邑面洞（ウプ・ミョン・ドン）の指導者、南北統一祈願昌原市救国救世祈祷
天一国 11 年天曆 10 月 14 日 (2023.11.26) | 昌原コンベンションセンター

天の摂理から見たキリスト教と韓民族、そして天一国時代を生きていく今日の私たちの責任は何でしょうか？

創造主、天の父母様は、ご自身の形にかたどって天地万物を創造し、人間の始祖になることの出来る男と女を創造されました。人間には成長期間という時間をくださり、よく成長して完成の場まで出てくるのを待っていました。しかし、彼らはそうならず、墮落することによって、今日の世界人類を生み出しました。

人類歴史は戦争と葛藤につながり、宗教間の紛争、

思想戦、民族間の葛藤など、言葉では言い表せない問題を作ってきたながら、一つになることが出来なかったのが今日の現実です。しかも人間の不注意によって、本来天の父母様が健康に創造してくださったこの地球が疲弊しています。

創造主は始められたら終わりを見なければなりません。全知全能であられる御方が今日まで待つしかなかった理由は、人間に特別に与えられた責任分担があったからです。したがって、天は大変な蕩滅復帰救援摂理の役事をされるしかありませんでした。イスラエルという民族を選民に選ばれ、天が接する



ことができる血統を探すまでには 4000 年という時間がかかりました。私たちは旧約聖書を通じてこれをよく知っています。

しかし、天がメシヤとして送った独り子イエス・キリストを彼らはどうしましたか？結局、イエス様は十字架の道に進むしかありませんでした。それでイエス様は「また来る」と言われました。

キリスト教の出発は「また来る」と言われたイエス・キリストを待つ、神霊を通じた聖徒たちによってなされ、2000 年間続いてきました。イエス様はなぜ「また来る」と言ったのでしょうか？

本来、創造主は人間始祖となる男性と女性を創造されました。そして完成した彼らを通じて、創造主は地上で天国の生活をする夢を見られました。ところがイエス・キリスト、男性一人ではそのような摂理を成し遂げることはできません。生命の誕生は母親からなされるからです。そのため、イエス様は再び来て、小羊の宴をすると言いました。

天が「また来る」と言われたイエス・キリスト、すなわち再臨メシヤを準備するための路程において、先に解決してくださなければならない点は、キリスト教の背景を通じて、独り娘誕生の基盤を作ることです。独り娘が誕生してこそ、再臨メシヤの摂理がなされるのです。

天一国は天の父母様に侍る国です。そのような点で、今日は摂理の真実、イエス・キリストの真実と本質を知り、独り娘と一つにならなければなりません。

そうしてこそ、2000 年間苦勞された独り子イエス・キリストの恨みを解き、願いを叶えることができる道が作られます。そのようにエンジンをかける今日として頂きたいです。ここにお集まりの皆様が指導力を発揮して、必ず勝利することを祈ります。🔥

この記事は、神通一韓国邑面洞（ウプミョン・ドン）の指導者、南北統一祈願昌原市救国救世祈禱会（陽11.26、昌原コンベンションセンター）で語られたみ言を編集・整理したものである。

天地人眞の父母様招請

クリスマス 特別午餐会

天一国11年 天曆11月13日(2023.12.25)

天正宮博物館 宴会室





皆さんは、絶対的に私と一つとなり、一心一念で実践躬行し、
必ずや天の父母様が活動することのできる環境圏を
この国から世界へ拡散するために、
1世、2世、3世を動員し、
地上に真の父母の顕現について教育し、教えなければなりません。
人類の未来、地球の未来に希望があるということを見せてあげなければなりません。



南楊州大教会 南北統一祈願真の愛祝祭

天地人の真の父母様をお迎えし、南楊州大教会主催南北統一祈願真の愛祝祭が天一国 11 年天曆 10 月 7 日（陽 11 月 19 日）、南楊州大教会大聖殿で盛況裏に開催された。

この日の礼拝には天一国指導者、南楊州大教会の食口と平和市民など約 650 人が参加する中で、パク・ヤンミョン大教会長の司会で「南北統一は私たちの宿命」映像視聴、準備賛美、開会宣言、歓迎および来賓紹介、天一国国歌斉唱、家庭盟誓斉唱、報告祈祷（イ・インボ長老）、挨拶（宋光奭神韓国協会長）、歓迎の挨拶（龍鄭植大教会長）、真の父母様ご入場、敬礼、ケーキカット、花束捧呈（孝童 / 成和代表、パク・ジョンデ諸職会長・パク・ヨンスク婦人会長）、真の父母様のみ言、決意文朗読（龍鄭植大教会長・畑中てるみ執事）、歓迎映像上映（全体食口・元老牧会者）、孝情文化公演の順に行われた。





真の愛祝祭礼拝の意味は第一に、実体聖霊独り娘、真のお母様の位相と価値を伝播するためであり、第二に龍鄭植（ヨン・ジョンシク）大教会長を中心とした6ヶ月の全力投球の栄光を捧げるための意味が込められている。また、第三に、全世界の危機に対処するための真の父母様のメッセージを伝播するためであり、第四に、南楊州大教会の食口の精誠の基盤を集め、天の父母様と真の父母様に栄光を捧げるためである。

この日、真の父母様はみ言を通じて「砂嵐が吹き荒れる、目を開けることができない状況で針の穴を探さなければならぬ心情で、天の父母様が望む願いを叶えて差し上げるために進んでいる」と語られ。「天の父母様が望まれる南北統一のために、天の父母様の本体であられる真の父母様の根と一つになった元老たちと祝福家庭が、丈夫な幹となり、たくさんの枝を作って実を結び、花を咲かせる美しい南楊州大教会になることを願う」と祝福してくださった。

宋光奭（ソン・グァンソク）神韓国協会会長は挨拶で「今日は真の父母様が『韓国協会を再建して教会成長の奇跡を作り、南北統一を準備しなさい』というみ言が叶えられる歴史的な瞬間である。南楊州大教会に降りた天の祝福が、神韓国全体の教会に広がることを願う」と伝えた。

龍鄭植（ヨン・ジョンシク）大教会長は歓迎の挨拶で、「2019年に出発した南楊州孝情平和奉仕団の活動が、2021年度、京畿道知事賞、2022年、韓国ボランティア団協会会長賞、2023年南楊州市ボランティアセンター京畿道議会議長賞を受けることになった」と話し、「天の父母様と真の父母様を中心に一つになれば、私たちは今まで築いてきた摂理基盤を通じて神統一韓国と神統一世界に必ず進むことができる」と強調した。

この日の参加者たちは天の父母様の下で人類一家族のビジョンを実現する「ビジョン2025」総力活動の勝利で、必ず南北統一と神氏族メシヤの使命である、天寶家庭を完遂し、未来世代の青年学生指導者育成、真の愛のために生きる心情の姿勢で、奉仕活動実践を通じてより一層教会を成長させ、地域復帰、国家の復帰のビジョンを成し遂げることを天の前に決意した。全体の礼拝は、キム・ソンテ UPF 南楊州支部長の先唱で億万歳三唱で終わった。





参加者代表の感想

チェ・ジョンチャン、イ・ヤンスク家庭（元老牧師）

真のお母様の御健康で優雅な姿に、深い感謝と栄光を捧げます。これまで 龍鄭植大教会長とパク・ヤンミョン大教会長が互いに尊敬し、和合し、食口と一つになる姿を見ながら、天の父母様と真の父母様が共にあられることを感じることができました。

10年前、真のお母様が直接準備してくださった南楊州大教会は、真のお母様のみ旨にお応えするために、み旨の前に元老牧会者と食口が一つになり、互いに助け合いながら成長してきました。これからも変わらず、真のお母様をお迎えして前進することを誓います。真のお母様、心から愛しています。

パク・ヤンミョン大教会長

実体聖霊独り娘、真のお母様が南楊州大教会に天運をもたらされた、とてつもない天の父母様の祝福に、心より感謝申し上げます。今年6月18日、6ヶ月総力伝道活動を出発し、真のお母様を迎えるための3段階計画を立てました。そしてついに今年5月、真のお母様が、龍鄭植大教会長を南楊州大教会に送って下さり、私たちは9年ぶりに夢を現実として迎えました。

真のお母様をお迎えし、今日全体が決意したように、私たちは皆、天寶家庭への登載、信仰伝統の相続、実体聖霊独り娘、真のお母様の証を通じて、南北統一の基盤を築くために先頭に立っていきます。

キム・ヒョソク青年教会長

真のお母様が入場される姿を見ると、真のお母様が南楊州大教会を訪ねてくださったのが夢ではない現実なんだな、「本当に真のお母様が私たちの教会にいらっしゃったんだ」という思いに、限りなく感激の涙がこぼれました。真のお母様が南楊州大教会まで直接足を運んでくださったのは天の大きな恩賜です。南楊州大教会にお越しいただき、明るい笑顔で、私たちに夢のような今日一日をプレゼントしてくださった真のお母様、心より愛しています。

ユン・ジナム パク・ソジョン家庭

実体聖霊独り娘、真のお母様、人類の真の母、平和のワンオンマを心と体で体恤することのできる、貴重な時間に感謝申し上げます。今日私たちは皆、ワンオンマの愛を限りなく感じ、天の父母様と真の父母様の心情を深く刻むことができました。天の父母様、真の父母様のみ旨を、南楊州大教会が先頭に立って、南楊州市、京畿道、韓国の復帰のために力を尽くします。南北統一、祖国光復、神氏族的メシヤの使命を必ず果たします。天の父母様！天地人真の父母様！感謝申し上げます。アチュ！！！！

イ・スンギョム青年

子供の頃は、真の父母様に近くでお会いできるのは想像するだけでもとても驚きで、不思議で胸がいっぱいになることでした。しかし、地道に精誠を立てて実行すれば、どうであれ夢も現実に叶えることができるという悟りを頂いた一日でした。現在、進路に関して悩みがありますが、私は必ず天の父母様、真の父母様に役に立つ人になるよう努力致します。教会が成長するほど、私も遅れないように最善を尽くす姿で成長していきます。真のお母様！ありがとうございます。

ナム・ヨンヒ青年

来年、UPA4年生の生徒として海外宣教に行かなければならないということが心の片隅で恐怖と疑問で溢れていました。しかし、今日、真のお母様が語られたみ言を通じて、真のお母様の心情を少しでも理解するきっかけになり、私もまた「私でなければならぬ」という真のお母様の孝情でもう一步進むことのできる時間になりました。真のお母様をお迎えしてみ言を聞く時間はあっという間に過ぎましたが、今日全体を成し遂げられるように共にしてくださった真のお母様に心より感謝申し上げます。

キム・ガヨン青年

真の愛祝祭を準備する期間、龍鄭植大教会長は、南楊州大教会がまず一つにならなければならないと強調され、お互いの言動に気をつけるようにという指針をくださいました。孝情文化公演を準備しながら、真のお母様に喜びを捧げようと、私自身の才能を自慢するよりは、まず一つにならなければならないということを教えてくださった内容でした。そのような心情で皆が一つになった中で準備した結果、孝情文化公演を通じて、ついに真のお母様に孝情を尽くす姿の結実を捧げることができました。真のお母様！今日のこの栄光が永遠であるように、ビジョン2025勝利、神統一韓国定着のために前進、また前進致します。

ムン・ファシク長老

夢の中では多くの人々が真のお母様のみ言に耳を傾け、決意し、幸せそうな姿を見ました。その夢は確かに現実に近づいてくる今日のために精誠とその基盤を準備するようにというメッセージを見せてくれたのです。実際、私は今日を迎える前までも、家族の信仰反対により多くの苦難を経験しました。それにもかかわらず、私は折れることなく、家族が天の父母様、真の父母様に侍り、一つになる場に進むことができるように努力してきました。そして今日、私の家族は皆参加する中で、本当に大きな恩恵を受けることになりました。真のお母様！真のお母様の「国家の復帰に一等功臣として先頭に立つ教会になりなさい」という祝福のみ言を実現していくために、一層最善を尽くします。🌸



2023 年神統一韓国邑面洞指導者 南北統一祈願昌原市救国救世祈祷会

光復 78 周年と休戦協定 70 周年を迎え、南北平和統一を念願するための「2023 神統一韓国邑面洞指導者南北統一祈願昌原市救国救世祈祷会」が天一国 11 年天曆 10 月 14 日（陽 11.26）昌原コンベンションセンターで盛大に開かれた。

共生・共栄・共義による幸せな家庭！朝鮮半島平和統一！決意

世界平和統一家庭連合 UPF・南北統一運動国民連合・韓国宗教協議会・神通一韓国国民連合慶南元老会の共同主管で開かれた今回の行事には、真の父母様を迎え、天一国の指導者と食口、昌原市をはじめ馬山、東昌原、鎮海など慶尚南道地域の平和市民約 6000 人が参加した。

同日の行事は開会宣言、国民儀礼、祈願儀式（李基誠天心苑長 & 宗教指導者）、大会の挨拶（朴榮培組織委員長）、祝辞、孝情賛美（慶南ヒーローズ & 孝情聖歌隊）、孝情スピーチ（手塚かおる講師、チョン・ヘソン俳優、ペク・ジウォン国楽団）、南北統一祈願公演、映像視聴、花束捧呈（チョン・ジョンホ・坂井ちづる家庭）、基調演説（真の父母様）、和合統一フィナーレ、統一の歌、億万歳三唱（パク・バンド UPF 慶尚南道会長）の順で行われた。





眞の父母様は『天の摂理から見た私たちの責任』というテーマのみ言を通じて、「人類歴史は戦争と葛藤により、宗教間の紛争、思想戦、民族間の言葉では言い表せない問題を作り出したのが今日の現実である」と語られ、「今の韓国問題も、神統一韓国へと向かう道も、人間中心ではなく、中心に天の父母様をお迎えして、眞の父母と一つになって 100 人、1000 人を率いる指導力を発揮して勝利することを願う」と激励して下さった。

朴榮培（パク・ヨンベ）組織委員長は大会の挨拶で、「最近、戦争と災難で不安感が高まっており、社会構成の礎である家庭が揺れている」とし、「朝鮮半島の平和統一と世界平和のために、また幸せな家庭のために昌原市民が先頭に立たなければならない時であり、我々が一丸となって祈れば、南北統一の運勢が開かれ、統一のその日が訪れるので、平和統一を成し遂げ、地球村の平和時代を昌原で開いていこう」と力説した。





カン・ギユン国会議員は祝辞を通じて、「家庭が平和であってこそ社会が平和で国家が平和になる」と語り、「家庭の大切さと孝と情の大切さの哲学こそ、世界平和の礎石であるため、今日救国救世祈禱会が開かれたことを心より歓迎する」と、祝賀の意を伝え、チョ・ミョンレ昌原特別市副市長は「自由民主主義によるアイデンティティの確立と、平和統一に向けた正しい時代精神の確立が厳重に必要な時期に、今回の救国救世祈禱会も地域住民に統一に対する正しい認識を高め、共感を形成するために、大変意義深い」と話した。

キム・イグン 昌原特別市議会議長も「本日、救国救世祈禱会を通じて共生・共栄・共義の一念を土台に、朝鮮半島統一に対するビジョンを提示し、平和を実行する契機になることを念願する」と伝えた。

続いて梁昌植(ヤン・チャンシク)UPF 世界議長は「韓国の世界最先端技術に韓国の資本が 600 兆以上評価される北朝鮮の資源と、2000 万の勤勉・誠実な労働力が合わされば、統一された韓国は文化・経済・軍事力がアメリカに並び G2 になるだろう」と語り、「真の父母様は南北を抱擁する母の心で、両側が銃と刀を下ろし、包容と愛で大統一の道を切り開かなければならない『モーメントム』を、VISION2025 と宣布された」と明らかにした。

宋光奭(ソン・グァンソク)神韓国協会会長は、「南北統一は人間的な努力だけでは実現できず、天の父母様をお迎えした立場で真の父母様と一つになってこそ、南北統一の天運が開かれるので、北朝鮮同胞を助けなければならないという切実な心情で、天の父母様の前に祈禱するならば、私たちの切実な願いが叶うだろう」と話した。



祈願儀式は各宗教界を代表して、世界平和統一家庭連合の李基誠（イ・ギソン）天心苑長、キリスト教のキム・ソンス牧師、仏教の清典僧侶、儒教のカン・ヨンス会長、大倭教のホ・グィスク、テ・シンモ、天理教のキム・ドンハク教会長などが平和祈願の合水式を行い、以後、李基誠天心苑長が告天文を朗読した。

参加者たちは南北平和統一と世界平和を念願するために、教団と宗派を超えて心をつにして前進することを決意し、6,000人余りの合心祈禱が平和統一を成し遂げる礎石となり、統一のその日まで共に進むことを誓う、億万歳三唱で全体の日程を終えた。

一方、この日キム・ヨンソン国会議員、チェ・ヒョンドゥ国会議員、イ・ダルゴン国会議員、ユン・ハンフン国会議員、パク・ワンズ慶尚南道知事、キム・ジンブ慶尚南道議会議長、パク・ジョンフン慶南教育監などが行事を祝う映像および祝電を送ってきた。🇵🇪



6か月間の成長と努力に 敬意を表し

宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長

2023年は私たちにとって天の父母様の祝福と真の父母様の恩恵の中で、本当に驚くべき摂理的結実を成し遂げた一年でした。

何よりも、今年5月に真のお母様の山寿宴を迎え、歴史以来空前絶後であった「天苑宮天一聖殿」奉献式を行いました。この日、お母様は天の父母様が喜んで受け入れてくださることを切に祈りながら、「天には栄光であり、地上に天一国の民の喜びと歓声が世界中に響き渡る、興奮してときめく、この喜びの歓喜の声」を聞かれることを強調されながら、「これからは天一国の民が、天に向かって賛美する声が響き渡るでしょう」とその喜びを語られました。初めて天の父母様が地上に定着される、新しい摂理の時代を迎えたのです。





そこで、お母様は新しい時代に見合った組織を新しく改編され、新たな出発を命じてくださいました。まず、お母様は神霊と真理で進むことを明らかにされ、天心苑と家庭連合の二苑体制を立てられました。

み言に従って、天心苑は世界大陸本部に天心苑分苑を建て、教会ごとに特別祈祷室を建て、毎日天の父母様が治める霊的環境圏を拡大していきました。そして 900 回を超え、1000 回の特別徹夜に向けて進む、驚くべき結実を生み出しています。

家庭連合と UPF もまた、新しく組織を改編して天の父母様の環境圏を開拓する、6 ヶ月総力活動を展開しました。

世界本部は真のお母様の心情に完全に共鳴し、全世界のすべての大陸と国家が必ず一つになって勝利するという覚悟と決意で、中断なき 6 ヶ月を過ごしました。あわせて、未来世代養育のための活動も活発に進めました。例年以上に、二世達の心情に火がついた 1 年だったともお話しできます。

また、神アメリカでは ACLC 特別集会が行われました。この日、キリスト教聖職者たちが独り娘実体聖霊真のお母様から、天の摂理から見たアメリカの使命とキリスト教 2000 年の歴史の本質についてみ言を聞く、貴重な時間を持ちました。キリスト教が長い眠りから覚めて、新しい出発をするように天運を相続してくださった意義深い集会でした。





世界本部が新たに出発し、真のお母様が望んでおられる、深い心中を知るために努力してきました。その結果、み言の中から4つの時代認識、3大目標、7大政策を選んで発表しました。

今この時代、私たちに求められる4つの時代認識は、実体で侍る時代であり、本質を追求する時代であり、孝情を越えて忠節の時代であり、伝道実績を報告する時代であるということです。実体で侍ること、本質追求、忠節、伝道実績の4つは、ビジョン2025勝利のための核心価値であり、実質的伝道を通じた実体的国家の復帰、段階的アプローチと組織の役割分担を通じた、神統一韓国安着、透明性と効率的組織を通じた天一国完成という3大目標に具体化されます。

このような3大目標の下、世界本部は世界巡回を通じた現況把握と各大陸戦略樹立、真の父母様を中心とした心情文化の再確立と教育、神霊と真理を通じた全世界の新創造運動、経済自立と透明性確保、実質的成長と伝道成果に対する標準化作業と評価、全世界の平和運動ネットワークを通じた神統一韓国安着支援、未来世代の養成と人材データベースシステム構築の7大政策を持って、大陸本部と疎通し、他機関と連帯し、中断なき前進をしてきました。

7大政策のうち2つの実績について簡単にご報告したいと思います。最初に報告する内容は「真の父母様を中心とした天の父母様聖会の心情文化再確立、および教育」です。真のお母様は天一国時代に合ったみ言を研究し、これを通じて天一国の伝統確立のための教育講義案を開発し、「天の父母様と真の父母様の





本質、そして祝福家庭の価値とアイデンティティを確立する心情化教育を推進せよ」というみ言をくださいました。このみ言を受けて、世界本部は鮮文大学と鮮鶴 UP 大学院大学の神学教授らと「真の父母神学研究委員会」を発足し、本格的な研究に入りました。

「一刻を争う」というお母様の深い心情に、一分一秒を割き、夜も眠れず研究に邁進しました。その結果、お母様は教材のタイトルを、「天の摂理から見た、真の父母様の地位と価値」と決めてくださいました。今後さらに疎通と共に修正、補完し、一日も早く全世界の食口の皆様にお伝えするために努力致します。そうして全人類に真の父母様の真実、摂理の真実を伝え、天の父母様の位相と価値を高めて差し上げる結果になるようお約束致します。

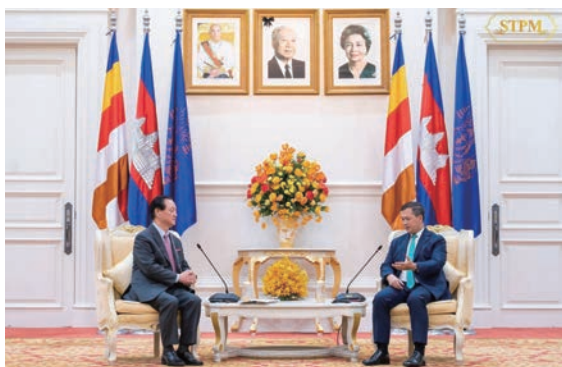
二つ目の報告内容は「未来人材養成と人材データベースシステムの構築」です。10 月、真のお母様は「二世たちが国家の復帰、世界復帰の先頭に立たなければならない」と語られながら、青年宣教師に関する深い関心を表明されました。そこで今年から、文信出、文信興生徒を含む鮮文 UPA 生徒たちが各宣教地に派遣されます。これと共に世界本部は全世界大陸で推進している、各々異なる「青年指導者養成プログラム」を一つにまとめ、公式的な青年指導者養成路程として作る計画を練っています。

世界本部は天一国を導いていく未来の指導者養成のために死活をかけました。食口の皆様が全世界に蒔いたみ言の種が、鬱蒼とした森を成すことができるように、世界本部は支援を惜しまないでしょう。食口の皆様も私たち未来世代に対する熱い声援と関心をお願い致します。🌿

梁昌植宇宙平和連合 (UPF) 世界議長、 フン・マネット カンボジア首相公式訪問

梁昌植 (ヤン・チャンシク) 宇宙平和連合 (UPF) 世界議長は、天一国 11 年天暦 10 月 5 日から 9 日 (陽暦 11 月 17 日～21 日) まで、カンボジアを公式訪問し、クオン・スダリー国会議長と面会した後、フン・マネット首相ほか、多くのカンボジアの政治家と相次いで会談を行った。

梁昌植 UPF 世界議長は天一国 11 年天暦 10 月 8 日 (現地時間陽暦 11 月 20 日) にカンボジアを訪問し、プノンペン平和館でカンボジアのフン・マネット首相と公式会談を行った。



最初に梁昌植世界議長は、フン・マネット首相の就任に対する UPF 創始者韓鶴子総裁の祝賀メッセージを伝えてから、今回の公式訪問に対する感謝の挨拶をした。

また、戦争に反対し、平和追求を願うフン・セン首相の努力と対処を称賛し、特にカンボジアが葛藤と分裂に苦しむ世界各国の模範事例となるべきだと呼びかけた。

この日、梁昌植世界議長は、国連と連帯して韓半島統一と世界平和増進のために様々な分野に亘って運動を展開している UPF に対するフン・マネット首相の格別な関心と支持を要請し、カンボジア市民の健康と地域経済の活性化に対して UPF が持続的な協力パートナーであることを強調した。

フン・マネット首相は、UPF の創始者である韓鶴子総裁の祝賀メッセージに感謝と愛情を表し、カンボジア政府もまた、両機関の発展と相互協力のために UPF の全般的な活動にも支援を惜しまないと応えた。🇰🇵

梁昌植宇宙平和連合 (UPF) 世界議長、 クオン・スダリー カンボジア国会議長と会談

同じ日 (11 月 20 日) の午前、梁昌植世界議長はクオン・スダリー国会議長に会い、カンボジア政府と UPF の協力、コミュニケーションの方法について話し合った。

梁昌植世界議長は「長い間、UPF とカンボジアが良い関係を維持し続け、信頼を築いてきただけに、今後も長期的な協力強化のために様々な分野の活動に協力してほしい。」と伝えた。

クオン・スダリー国会議長は「カンボジアは複数の国際フォーラム (AIPA、IPU、APPF、APF、ASEP) に参加し、平和と対話を促進している。」とし、「カンボジア新政府は 2030 年までに上位中所得国、2050 年までに高所得国を目指している。カンボジアがさらに発展できるよう、UPF が投資家と旅行者の誘致、教育及び訓練の提供、公共部門の能力向上の面でサポートしてくれることを願っている。」と述べた。

これに対し梁昌植世界議長は「UPF とカンボジア政府は重要なパートナーであり、包括的な戦略的パートナー関係である。UPF は様々な分野に亘って運動を展開している。今後も UPF とカンボジア政府がお互いの活動を積極的に支援し、さらに関係が拡大し発展することを願う。」と応えた。

この前日 (11 月 19 日)、梁昌植世界議長はカンボジア内戦終結の象徴であるウィンウィン記念館を訪れた。ウィンウィン記念館は、2018 年 12 月 31 日に内戦終結 20 周年を記念してフン・セン首相によって竣工された。



UPF アジア太平洋圏域、 スリランカ国会・国会議員指導者会議 共同主催

UPF アジア太平洋圏域世界平和国会議員連合 (IAPP) とスリランカ国会の共同主催で「UPF アジア太平洋圏域、スリランカ国会・国会議員指導者会議」が「行動する責任：透明性とグッドガバナンスの育成」をテーマに天一国 11 年天暦 10 月 24 日 (陽暦 12 月 6 日)、スリランカ国会で開催された。

この日の会議には現職国会議員、政府代表、UPF の 12 カ国代表 (インド、マレーシア、インドネシア、カンボジア他) など約 200 人が参加した。

マイトリーパーラ・シリセーナ元スリランカ大統領 (世界平和サミットアジア太平洋議長) と国会議長の共同主宰で開かれた今回の行事には、スリランカのラニル・ウィクラマシンハ大統領が直接パネリスト





として出席し、歓迎の挨拶を行った。

ダン・バートン IAPP 共同議長の祝辞に続いて登壇した梁昌植 (ヤン・チャンシク) UPF 世界議長は、主題講演で原理的な観点から政治家が守るべき徳目と公共意識、透明性、利他主義的行動と責任について力説した。特に梁昌植世界議長は、国境を越えて地域的な連帯を示すための真のお母様のアジア太平洋ユニオン (APU、2019 年に名古屋で宣布) 創設の意義と課題について強調し、様々な問題について意見を交換した。行事の最後に梁昌植世界議長は、2024 年 5 月に UPF が準備している国連国際行事にスリランカ国会と共同で参加することを協議した。

スリランカは、真の父母様が UPF 創設直後の 2005 年と 2006 年に公式訪問した国であり、当時大統領宮殿でスリランカ政府の温かい歓迎を受けている。🇱🇰



天宙平和士官学校、 神 TOPGUN 宣教活動

1. 天宙平和士官学校の紹介

天宙平和士官学校 (Universal Peace Academy) は、真の父母様と一つになって、天一国を率いる未来世代の指導者を養成する機関として、2013年3月に設立されて以来、これまで10年の歴史を綴ってきた。

真のお母様は、真のお父様の聖和以来初めての事業として、未来世代の主軸となる指導者を養成するため、天宙平和士官学校修士課程 (シニア UPA) を設立した。2020年には鮮文大学を天一国国立大学と命じられ、神学科を天宙平和士官学校の学部課程 (ジュニア UPA) として新しくスタートさせた。

天宙平和士官学校では孝情を基盤に牧会、宣教、学問、教養の力量をあまねく備えた「真の父母に似た天一国指導者」を育てることを目標に教育訓練を行っている。生徒たちは寮で団体生活をしながら訓読会、体力および制食訓練、出征式、点呼、祈祷会、精誠などの基本的な生活を通じて内的姿勢を確立し、その他様々な教育訓練を通じて、それぞれの力量を強化している。

4年の学部課程に続き、2年間のインターンシップを終えた士官生徒たちは、真のお母様が直接主管される、発令任官式を通じて発令を受け、「天一国青年特使」として全世界の各現場で公職活動をするようになる。





2. 神TOPGUN 宣教活動

真のお母様は、三代圏を中心に UPA 生徒たちを自ら主管され、愛と恩恵で養育して来られた。これから信出、信興生徒をはじめとするジュニア UPA の第 1 期生徒たちが教育課程を終え、海外宣教インターンシップに進むことになる。

真のお母様は彼らに、「キリスト教国家に出て行き、実体聖霊独り娘、真のお母様を知らせ、イエス様の本質と摂理の真実を伝えなさい」という天命を与え、ジュニア UPA 生徒と共に進み行く青年宣教師たちに「神 TOPGUN」という名前を下賜して下さった。このような真のお母様の命を受けたジュニア UPA 第 1 期の生徒達と宣教を決心した未来世代たちは、神 TOPGUN の名で 2024 年に海外宣教活動を展開することになる。

現在、世界本部を中心に派遣のための宣教国家選定および準備が周到に行われている。大きくは北米をはじめとする欧州、アフリカ大陸を中心とするキリスト教、英語圏国家に派遣される予定だ。彼らが進む道をモデルにして、今後、統一家の未来世代も共に公的な祝福家庭の伝統を確立していくだろう。



3. 参加者の覚悟

1) 第1期 ナムグンファユン生徒

もう海外インターンシップに行くまで残りわずかです。当然恐怖と心配が襲ってきますが、私が行く海外インターンシップは、真のお母様が精誠と関心を注いでおられるということを知っているので、諦めずにインターンシップ、そして公職の道を進みたいです。真のお母様が4年間私たちに多くの愛をくださり、今までは私たちが様々な部分で喜びを捧げようとしていたならば、これからはさらに成熟した姿で現場に飛び込み、真のお母様が愛する食口たちとまだ天地人真の父母様を知らない子女たちに天地人真の父母様の愛とみ旨を伝えます。真のお母様が望まれる実を結ぶことができる真なる孝子孝女となって帰ってきます。天地人真の父母様、愛しています。ありがとうございます！

2) 第1期 チェ・ジュホン生徒

「希望は探すものではなく、作っていくものだ！」という言葉があります。私たちジュニアUPA第1期士官生徒一同は、独り娘、真のお母様を絶対中心に侍る中で、この4年間、神霊と真理で天一国実体化のための教育および訓育課程を履修しました！士官学校課程は数多くの内外的試練と葛藤により、決して順調なものではありませんでした。しかし、いつも私たちの前途を真の愛の光で照らして下さった真のお母様が共にされたからこそ、勝利することができました！私たち士官生徒一同はこの4年間惜しみなく与えて下さった真の愛の前に、孝情の道理を全うしようと「神 TOPGUN」の使命を果たしたいと思います。私たちが派遣



される場所がどこであれ、天の父母様の真の愛と原理のみ言の鎧を纏い、「独り娘、実体聖霊」として顕現された平和の母を満天下に宣布し、統一家に希望を作り出します！

3) 第1期 文信出生徒

私をはじめUPAの生徒たちは2年間海外宣教に行くことになります。これからどんな道に行くことになるか、生徒たち各自心配があるだろうし、恐れもあるでしょう。私もそうです。しかし、私たちは天の父母様のために、天地人の真の父母様のためにこの道に行くことを決心して進むだけに、4年間訓練を受けてきたすべての過程の結実を必ず結ぶことになると思います。宣教期間中、僕たち生徒一人一人が最善の努力を尽くして、真のお母様に貴重な実をお見せすることができるように努力致します。真のお母様、愛しています！ 



第5回南北統一祈願！ 天運相統天心修練会

第5回南北統一祈願！天運相統天心修練会が天一国11年天曆10月30日から11月3日まで（陽12.12～15）、HJ天宙天寶修鍊苑をはじめとするHJ天苑団地で、龍平および地域別幸福原理セミナー修了者を対象に開催された。

新規食口108人と霊の父母20人が参加した天心修練会は、龍平リゾート教育修了後、真の父母様の生涯路程と原理専門教育、天寶特別講義、賛美役事、天心苑祈禱会を通じて家庭連合の新規食口が教会によく定着できるようにするために実施された。





初日の開会式はイ・ジュン局長の司会により、家庭連合の紹介、オリエンテーション、代表祈祷(オ・ヨンジェ大教会長)、映像視聴(南北統一は私たちの宿命)、天寶摂理特別講義(ムン・ベグアン特別巡回師)、天寶賛美、天心苑祈祷会が行われた。

2日目は幸福原理(イ・スンイル中央講師)、HJ 天苑団地巡礼(天寶苑、アクアガーデン)などが行われ、3日目は真の父母様の生涯路程(イ・ギシク副協会長)、南北統一祈願ユンノリが行われた。

最後の4日目は映像視聴(私は誇らしい韓国人:朴普熙会長)、閉会の挨拶(宋光奭協会長)、特別講義(アン・ホヨル対外協力本部長)、信仰特別講義(イ・スンイル中央講師)が実施された。

宋光奭協会長は閉会の挨拶を通じて、「今、何よりも急がれるのは、この国の統一だ。この民族が一つになることが出来ず、私たちが一つになることが出来ず、南北が一つになることが出来なかったのに、その何に大きな意味があるだろうか」と語り、「国民をより多く教育し、み旨を知らせることが、今私たちがすべき最善のことだ」という真のお母様のメッセージを伝えた。

最後に、イ・スンイル中央講師の導きで新規食口は安着祈祷文を通じて、真の父母様を中心とした信仰生活と南北統一運動への参加を決意し、すべての日程を終えた。🏆

天運相続 天心修練感想文

ソウル北部 恩平教会 チョン・ナンホ新規食口

3泊4日間の教育は、本当に身も心も生まれ変わる貴重な時間でした。来ようとしなかった愚かさから抜け出せたことに感謝し、この道を行くように導いてくださったソン・ファンドック牧師をはじめ、すべての方々に感謝します。文鮮明・韓鶴子真の父母様、どれほどお辛く、胸を痛めながら一生を生きて来られたでしょうか。無限なる愛で、私の心の目を開かせてくださり、愛する方法も教えてくださったので、その感動を抑えられません。その愛は統一も成し遂げ、世界平和も成し遂げるでしょう。

慶尚南道馬山教会 キム・ギョンスン新規食口(馬山セマウル婦人会長)

龍平修練参加以後、ご夫妻の業績に深い感銘を受け、4日間会社の休暇を取って今回の修練会に参加しました。幸福原理と真の父母様の生涯路程、天正宮巡礼などを終えると、私の周辺の知人達にもやはりこの教育を受けてほしいと思いました。もう一度私にも機会があれば、また修練会に参加します。ありがとうございます。

ソウル北部圏域 鍾路教会 イ・ヨンエ 新規食口

最初は異端という壁を越えて教育に臨まなければならないというのが個人的にとっても大変でした。しかし、修練会参加以後、家庭連合の趣旨と目的を知り、1年間、鍾路教会の原理教育と信仰教育を通じて多くの感銘を受けました。また、今回の修練会を通じて新しい信仰観と人生の挑戦課題を感じながら、より一生懸命生きなければならないと思いました。

ソウル北部圏域 鍾路教会 イウヨブ 新規食口

私はカトリック教会で洗礼も受け、プロテスタントで長老職を任せられたりもしました。短くない霊的世界を経験したりもしました。それにもかかわらず、解消されないもどかしさがいつも私の心の片隅を占めていました。今回、3泊4日間行われた天心修練会は、これまで私の胸にあざとなっていた傷を癒してくれました。恩に報いる道は伝道王として才能を寄付し、祈祷と実践で、南北統一のために努力しなければならないと思いました。天の父母様、真の父母様、真のお父様、真のお母様、賛美と栄光をお受けください。

京畿北部東豆川教会 ユ・グムヨン 新規食口

天の父母様と天地人真の父母様の人生を詳しく知ることができ、今回の機会を通じて私の人生に大きな目標ができました。天の父母様のみ旨と完全に一つになって、信仰を持って、生活の中でより実践するために努力します。完全に真の父母様の人生に似た人生、み旨を実践する人生、責任と召命を感じる人生を通じて、真の父母様のみ旨を実践する子女になることを誓います。アチュ。

神アメリカ、 ニュージャージー伝道戦略集会

神アメリカニュージャージー伝道戦略集会が天一国 11 年天暦 10 月 21 日（陽暦 12 月 3 日）、祝福家庭 1 世・2 世の核心指導者が出席する中で開かれた。

この日集まった核心指導者たちは、ニュージャージー教会のための今後の課題として、未来世代のための青年伝道が必ず実行されなければならないと声を上げた。

参加者たちは、大学街の伝道戦略実行方案を模索した後、今の時代の信仰を渴望する青年のためのプログラムを準備する上で、家庭連合の計画履行に対する参加方案もより具体化すべきだと付け加えた。

また、青年教育プログラムについても様々な意見が出されたが、優先順位の選定で大学街の伝道活動を拡大させるために、祝福家庭全体と大学原理研究会 (CARP) が協力することを決意した。

集会の最後には、ニュージャージー教会が今回の大学街青年伝道を通じて、家庭連合の肯定的な未来が開かれるよう積極的に活動することを誓い、すべての日程を終えた。✂



神アジア太平洋 「為に生きる」授賞式及び 新規平和大使委嘱式

天宙平和連合 (UPF) オーストラリア主管による「為に生きる」授賞式および平和大使任命式が天一国 11 年
天曆 10 月 20 日 (陽曆 12 月 2 日)、地域社会の平和定着に実質的な貢献をした優秀市民を対象に開かれた。

この日の授賞式及び委嘱式は、開会宣言に続き基調講演 (ジョン・アダメデス UPF オーストラリア会長)、授賞式、祝賀メッセージ (ユタカ UPF オセアニア会長、ストラスフィールド副市長サンディア・レディ議員)、平和大使委嘱式 (サントシ・ネウパン UPF オーストラリア副会長)、祝賀公演、記念撮影、閉会などの順で行われた。

ジョン・アダメデス会長は基調講演で「お互いのために生きる家族のような生活を通じて、神様の下、人類一家族の理想を実現することができる。」と語った。

この日の授賞式で、地域社会のために各分野で献身する人々に賞が贈られた。その後行われた新規平和大使委嘱式では、地域を代表して持続的な平和運動に積極的に取りんでいく新規会員 10 人を選任し、委嘱状を渡した。

一方、サントシ・ネウパン副会長は閉会の辞で「これまで地域社会の平和運動拡散のために先頭に立ってくださった会員の皆さんと、今後平和世界の基盤を造るための諸活動を共に展開していく上で、各界のリーダーの皆さんの積極的な参加と協力をお願いしたい。」と述べた。🌸



神南米、 ブラジル宗教指導者平和大使委嘱式

＜宗教指導者平和大使委嘱式＞が天一国 11 年天暦 10 月 13 日（陽暦 11 月 25 日）、サンパウロ本部教会で盛大に開催された。

宗教指導者平和大使委嘱式は、国家復帰のためのアベル型指導者を立てることに意義がある。神南米 1 地区ブラジル天宙平和連合 (UPF) 主催で行われたこの日の行事には、サンパウロ州の既成教会所属の聖徒約 120 人が参加した。

この日、金東佑（キム・ドンウ）神南米大陸会長は、UPF の創始者である真の父母様の生涯路程と平和ビジョンの提示についてアピールし、平和と統一のための宗教人の役割について説明した。

その後、ブラジル宗教指導者協議会 (BCLC) 創設に続き、宗教指導者平和大使委嘱式 (10 名) が行われた。特別に、BCLC は 2024 年に世界キリスト教聖職者協議会 (WCCL) の平和大使との出会いを推進し計画している。🔗



神南米、 新規食口 1000 人勝利特別礼拝

新規食口 1000 人勝利特別礼拝が天一国 11 年天暦 10 月 14 日 (陽暦 11 月 26 日)、ブラジル・サンパウロ本部教会で盛大に開催された。

新規食口特別礼拝は、金東宇 (キム・ドンウ) 神南米大陸会長をはじめ、佐々木孝一ブラジル家庭連合会長夫妻、祝福家庭が参加する中、孝情讃美、家庭の誓い、開会の辞、開会祈祷、天一国歌、メッセージ (金東宇会長)、閉会の順で行われた。

この 6 カ月間、1000 人の新規会員を集結させるために、金東宇会長を中心に神南米の国家指導者、天寶家庭、祝福家庭は、一人一人新規加入者の名前を呼ぶ呼名祈祷をおこなってきた。こうして集まった 1000 人の新規会員は、入会申し込み書の作成はもちろんのこと、統一原理修練の履修、ブラジル統一文化の受け入れ (酒×、タバコ×、自由な性行為×)、さらに一步進んで、唯一なる神の下、人類一家族のためのビジョン実現活動及び天寶家庭登載のための決意を固めた。

この日、参加した食口たちは「この 6 カ月間、真のお母様のみ言と一つになって天心苑特別精誠を重ねてきた結果、奇跡のような結果を見ることができた。」と述べ、今回の新規食口 1000 人勝利特別礼拝を通じて、天一国時代を生きる真の子女の立場で、皆が神統一ブラジルを実現するために最善を尽くすという決意を伝えた。✚



神中米、 ドミニカ共和国祝福結婚式

ドミニカ共和国祝福結婚式が「天の父母様の下、人類一大家族」平和の夢の実現をテーマに、天一国 11 年天曆 10 月 7 日（陽曆 11 月 19 日）、セントロプラザホテルで盛大に開催された。

この日の行事には祝福参加者 100 組をはじめ、ドミニカ共和国のベルナルド・クルス国家指導者、レオニダス・ベリヤルドカリブ海地区長、レガラドドミニカ UPF 事務総長、サルバドール・カスティヨ世界平和統一家庭連合ドミニカ副会長、カルロス・エルナンデス・シャニエラ・ペトラドミニカ青年会長、ロクサンナ・クルス国家指導者夫妻、ペラルタイエス教会牧師、マルタ・ラボウル&リカルド・ペレス夫妻、ソラヤ・アキノ基督教社会党議長など 320 名余りの家庭連合会員が参加した。

祝福結婚式は、開会式、歓迎の辞（レオニダス・ベリヤルドカリブ海地区長）、宣布祈祷（オノレ福音教会牧師）、挨拶（ヒメネス牧師）、メッセージ（セザール・レガラド UPF 事務総長）、主礼挨拶（このたかし・ていこ牧師夫妻）、公演などの順で行われた。🌸



天の父母様と真の父母様の 愛でつながった時間

エヴァ | ドイツ宣教師

統一原理との出会い

1951年にドイツのブレーメンで生まれた私は、幼い頃から家族と共にプロテスタントの信仰を持っていました。感受性の強い10代の頃、人生の目的や霊的な世界についていくつも疑問を抱え、答えを見つけようと努力しました。

そんなある日(1973年)、私はある女性(霊の親)を通じて統一原理に接するようになりました。統一原理は、それまでの私がいろいろ疑問に思っていた内容を具体的な答えで説明してくれました。20代はじめに統一原理に出会えていなかったら、人生の問題を抱えてさまよう普通のひとと少しも変わりなく、あてもなく人生を無駄にしていたことでしょう。その後1年間、家を出て霊の親と一緒に生活をしながら、統一原理と統一運動に関する教育を受けていきました。その間、私の家族は私を家に連れ戻すためにプロの誘拐犯を雇いましたが、宗教に対する私の意志を確認してからは、自暴自棄になって私の意志を受け入れてくれました。



最初の宣教地(タイ)

家族の反対にもかかわらず、統一原理と統一運動に対する私の心はなかなか折れることはありませんでした。最終的に私はミュンヘンにある統一運動に合流するため、カムバーク近郊のカールスルーセンターで宣教活動のための教育を受けることになりました。そこではドイツ宣教師派遣のための教育と活動が行われていました。私はそこに入って間もなく、主催者側にタイ宣教の意思があることを伝えました。私の意志は受け入れられ、その年の4月からタイでの宣教活動が始まりました。

1974年、バンコク空港から下手な英語でなんとかタクシーに乗り、やっとの思いで借りたアパートに到着しました。当時、私を歓迎してくれた大家さんの聞き覚えのない言葉と不衛生な環境は、私に漠然とした恐怖を与えましたが、私は頭をからっぽにして、すぐに掃除用具を買いこんできて、身の回りの整理から始めなくてはなりませんでした。正直なところ、当時タイで感じたあまりにも暑い気候、環境や文化の違いなどから、タイで生き残れるかどうか心配になりました。到着から3日間、私の頭の中は複雑すぎてむしろボーッとした状態になっていました。そんな私に、思いもよらないことに大家さんは、ドイツ語を話せるベトナム人の留学生を紹介してくれて、バンコクでの生活に適應できるよう、いろいろ伝えようとしてくれたようでした。



初めての公式活動と他の宣教師との出会い

1974年、タイの空港に到着した私を最初に迎えてくれたのは、宣教パートナーのジャック（アメリカ人宣教師）でした。ジャックは私の最初の宣教活動を大いに助け励ましてくれた人です。

ジャックと私はタイの宣教活動資金を得るため経済活動から始めなければならませんでした。私たちは語学塾で英語とドイツ語を教えながら、同時に活動のためのタイ語学習に力を注ぎました。経済活動とタイ語の勉強に追われる中、私たちの本分を守ってバンコクの学生のためのセミナーを開催しました。

私が学んだタイという国は、他の宗教の自由を保障し、宣教や様々な団体の布教活動を許可している国でした。しかし、実際のタイの状況は、極右勢力による政治的独裁で集団勢力への圧力を正当化していました。

宗教活動は、タイ国内、カンボジア、ベトナム、ラオス、ミャンマーなど、どこでも容易ではありませんでした。タイに到着して間もなく私のアパートは、ビザ延長のために他地域から集まってきた宣教師たちでいっぱいになり、生活することも容易ではないほどでした。それだけでなく、当分の間私たち宣教チームは別の宣教チームと活動を共にし、かなりの部分、主体的な立場ですべてに責任を持たなければならなくなりました。それでも皆と共に、タイ政府の目を避けて宣教活動をしていきました。

天の父母様と真の父母様の愛

異なる文化圏の人たちが共同生活することは簡単なことではありません。私たちの目的は同じですが、各自の基準や置かれた環境が異なるため、衝突が避けられない状態が続きました。お互いの理解と配慮すべきことが日を追って増えていきましたが、数カ月の間はお互いに我慢しながら一緒に過ごさなければならませんでした。

新しいルールを作り、精誠を捧げながら活動の安定を模索していた時期に、他の宣教チームからジャックに宣教チーム全体のリーダーになって欲しいと頼まれ、当時の状況をいろいろ考えたジャックは、悩んだ末に彼らのリーダーとして宣教活動をしていくという結論を出し、他の地域に移ることになりました。そうした状況で、誰かがタイ宣教のミッション達成のために残らなければならず、結局私が一人でタイに残り、活動を続けていくことになりました。



そんなある日、悲惨な自分の状況を通声祈祷で祈っていたところ、近所の人が偶然私の祈りを耳にし、宣教活動に興味を示すということがありました。私は彼に、それまで一生懸命勉強してきたタイ語で統一原理教育を行いました。そしてまたある日は、通りすがりのアメリカ人夫婦が私の家を訪問したこともありました。不思議なことに、私一人でも統一原理を伝えミッションを実行できることが起こったのです。

そんな中、私は偶然の事故で股関節骨折をしてしまい、手術を受け身動きが取れない状況になってしまいました。3カ月間松葉杖生活になった私にとって、すべての状況は最悪でした。

更に追い打ちをかけるように経済的困難に陥り、一日一食も摂れない日も多くなりました。天の父母様と真の父母様の守りがあったからでしょうか。私の状況を知った大家さんは、ある日から突然私の食事の世話をしてくれるようになり、経済活動ができない私に家賃の心配はするなとまで言ってくれました。そればかりか彼女は滞納していた私の病院代まで出してくれ、私の面倒を見てくれました。

突然、宣教パートナーを他地域に送り出し、何度も続く悪い出来事に一人で苦しんできた私に、天の父母様と真の父母様は「いつもあなたのそばにいる」というメッセージをくださいました。

三位一体の体験

周囲の助けにより、私は徐々に健康を取り戻し、以前より経済的な状況も安定していきました。1976年、ジャックをはじめとする宣教チームはビザの問題などで再び追放され、誰が望んだ訳でもないのに、また皆が同じ空間で過ごさなければならない時期が訪れました。

以前と違って、私たちは大きなスペースを借りて、より組織的に原理の勉強と宣教活動を始めることになりました。そして私はその中で統一原理教育を担当することになりました。私のタイ語の実力と統一原理講義の実力はどんどん上達していました。講義の時には、今まで知らなかった言葉が私の口から宣教師やゲストに伝わり、それによって私は天の父母様と真の父母様との深い心情的関係を経験するようになりました。

同じ年に英語とタイ語の上手なレック（宣教師）が私たちのセンターに移ってきました。私たちは彼を中心に統一原理をタイ語に翻訳する仕事を始めることができました。タイ語に翻訳された統一原理を持って、私はすぐに1975年から縁のあったルンブーンを霊の子にすることができました。



彼女は左翼的な傾向が強かったのですが、統一原理に大変興味を持ち、私との会話に多くの時間を費やし、そののち私たちの運動に参加するようになり、ついに祝福結婚も受けるようになったのです。彼女は現在家庭連合の一員として熱心に活動しています。

実際、1976年はタイの現代史における暗黒期でした。1976年10月6日にバンコクで起きたタンマサート大学大虐殺事件は、当時の複雑な社会的、政治的緊張を反映したもので、残酷な転換点となりました。軍部に抗議する左翼傾向の学生運動者を、警察はもちろん、軍人や右翼団体が鎮圧し、無慈悲な弾圧と虐殺をした事件です。民主化を願う学生と市民の頭上に無慈悲な機関銃の洗礼が降り注ぎ、いつ誰が死んでもおかしくない状況で、宣教師全体はより安全な場所に移動せざるを得ませんでした。

そうして活動を続けていたところ、1978年に私もビザの問題を抱えることになりました。幸いなことに私は当時、一和の高麗人参を売りながら働くことを目的としてタイでの活動を続けることができました。私をはじめ、宣教師たちはみんな似たような境遇に置かれていたので、天を頼りに慟哭しながら祈る日々が多くなっていきました。こうした私たちの切ない事情を天の父母様と真の父母様はご存じだったのでしょうか。以前より統一運動の成果が日増しに大きくなり、喜んで活動に専念できる環境圏が開かれていったのです。

極度の孤独の後に訪れた使命

タイで一番孤独だった時期に、思ってもいなかった異性の誘惑にあいました。私の周りの男性は私に異性として関心を持ち、統一原理の本質よりも私自身に対してしつこく関心を寄せてきました。それでも私は、いつもみ旨のために笑顔を絶やさず、彼らに講義をしなければならない状況でした。そのような経験は、み旨に対する自分をより確固たるものにしてくれました。

ほとんどの女性宣教師は、海外で耐えなければならない制約や状況がたくさんあったはずだと自らを慰めながら一生懸命活動した結果、第二、第三の霊の子を見つけることができました。

ウォラボット（三番目の霊の子）は、統一原理を紹介した時、とても魅了されたかのように行動し、毎日のように私を訪ねてきて統一原理、統一運動、祝福結婚についての教育を受けていきました。不思議なことに、彼女は講義中に何度も涙を流し、誰よりも早く統一原理を習得しました。彼女は自然と祝福結婚式に参加するようになり、現在2人の子供と4人の孫を持つおばあちゃんになりま

した。霊の子という実りは、私が信仰生活をする上で、大変な責任感と誇りを感じさせてくれます。しばらくの間、宣教チームは自作の図表やドイツ語の統一原理の講義案で活動をしていました。私の講義を聞いたタイの食口たちの協力のもと私の講義案はアップグレードされ、講義内容をより簡単に伝えられるよう彼らは様々な方法を提示してくれました。

1978年5月、ジャックは正式に国家指導者に任命されました。私もメディア宣教のための外国人特派員としての使命を与えられました。

私の新しい使命は、数多くの内容を実際にインタビューし、タイの地域文化やニュースなどを週2回新聞記事として寄稿することでした。

言論活動

言論活動をしていた頃、政治的・社会的に疎外された人々、売春婦、カンボジア難民などの記事を扱うときは、そのような状況で暮らす彼らを理解することが先決でした。底辺の生活をする典型的な風景に徐々に疲れてきた頃、私は再び天の父母様と真の父母様の心情で彼らを包みこみました。

私は彼らをケアするための小さなホームチャーチを設立し、そこで各自の年齢に合った教育と統一原理の教えを提供し始めたのです。そんな中でたまたまタネットという人に出会い、2年余りの精誠の末に彼を祝福結婚まで導くことができました。

1980年12月、オリバーという名前の若い男性がセンターにやって来ました。彼はタイに来る前、イギリスで統一原理に接したことがあったそうですが、自分の夢だった世界旅行に出かけたと話してくれました。ところが偶然、タイ旅行中にまた統一運動のニュースを耳にし、これこそ天が作ってくれた縁だと思い、自分の日程をすべて変更して私の所を訪ねてきたと言いました。

オリバーは統一原理を学び、統一運動のメンバーとして私と一緒に活動することを切望していました。そのような彼の確信に満ちた態度は私の信仰の活力となりました。数カ月後、彼の兄ラッセルもやって来て、彼もまた統一運動に参加し、祝福結婚にも参加することになりました。その後ラッセルは1989年からタイの公職者に任命されて活動しています。

1980年2月、真の父母様が海外の宣教師たちをニューヨークに呼んでくださいました。初めて真の父母様に直接お会いすることができるという大きな恵みの前に、心配半分、期待半分で参加しました。

真の父母様は、海外各地に散らばって苦悩を抱えていた宣教師たちの苦しみと困難を誰よりもよくご存じでした。真の父母様はいつでもどこでも、宣教師たちがどこにいても、どんな困難を忍耐しながらみ旨の道を歩んでいるのか、その苦しみを心情的、霊的に共にされてきたので、とてもよくご存じでした。真の父母様のみ言を聞きながら、多くの宣教師は過去の日々がパノラマのように浮かんで、たくさんの涙を流していました。

一つではなく二つ

真の父母様の愛を直接体験しながらも、私の心の片隅にはタイへの渴望が消えることはありませんでした。

1980年12月、私は祝福を受けた後、1981年に宣教ビザを取得してバンコクに戻りました。私はもう一人ではありませんでした。真の父母様の祝福を受け、夫と一緒にタイに入りました。当時、ほとんどの宣教師はカップルで宣教国に戻りました。そして、各自が担当するミッションを勝利に導くために一緒に投入を重ねていきました。

私が宣教活動をしてきたタイは公式的に統一運動が登録された状態でしたが、実際の状況は少し違いました。国民の90%以上を占める人が信じる小乗仏教(上座部仏教)から改宗させることは本当に大変でした。

1986年、私と私の夫はタイの3大都市を管理するセンターの責任者として発令を受け、プーケットに移住することになりました。それまでの経験から様々な出来事を足掛かりに一生懸命活動し



た結果、プーケットでの活動はかなり成果がありました。

私と夫は 1987 年にタイ南部のソンクラーに、1988 年にはタイ北部のチェンマイに移って活動をするようになりました。そんな中、1999 年に私たちはアメリカへの移住を勧められました。タイを離れるということは、考えただけで心が引き裂けそうで、一口の水ものどを通らないほど寂しいことでした。

タイ宣教の発令以来、私はタイを第二の故郷だと考え、天の父母様と真の父母様のみ旨を広めることだけに専念してきました。天の父母様と真の父母様のためにタイ復帰だけを考えて駆けてきた時間が長かっただけに、離れなければならない悲しみはなかなか消えませんでした。しかし、私たち夫婦には選択ではなく、決定した答えだけが与えられていました。

2000 年、家族全員がアメリカに移り住んで 1 年経った頃、タイ国内の統一運動が非常に厳しい迫害を受けるようになったというニュースを聞きました。統一共同体に非常に敵対的なタイ政府の少数の人が統一運動を非難したからでした。彼らは統一運動がタイ王室と仏教を非難したという誤った情報を作り、それによってレック（宣教師）夫妻を刑務所に入れました。当時、家庭連合の指導者たちは有能なアメリカ人弁護士を雇い、誤解のすべてを整理し彼らが釈放されるようサポートしました。

エピローグ

現在、私の最初の宣教パートナーだったジャックは霊界に行きましたが、今でも私は真の父母様が授けてくださった故郷の地、タイで出会った宣教師や霊の子たちと連絡を取り続けています。共に信仰の道を歩む同志として、私と彼らは誰よりも熱心にタイ復帰のために祈り協力しています。

死んだら埋葬されたいと思っていたあの場所、第二の故郷、タイを去ったあの日を思うと今でも胸が張り裂けそうで心の片隅が痛みます。ですが、天の父母様と真の父母様がタイを中心に私に作ってくださったたくさんの経験と絆は、今でも私の人生を幸せでいっぱいに満たしてくれています。

見ず知らずの地、馴染みのない環境の中にいた私に、いつどこにいても「私はいつもあなたのそばにいる」というメッセージを送ってくださり、大いなる愛で私を守ってくださった天の父母様、真の父母様、心から愛しています。ありがとうございます。🌸

2023 신통일한국 읍면동 지도자
남북통일기원
창원시 구국구세기도회



천지인 참부모님 남양주대교회 방문 남북통일기원 참사랑축제

일시: 천일국11년 천력 10월 7일(2023.11.19)

장소: 남양주대교회